革新市長は不利か

細谷・坂田両市長と対談

私たちは四年前大牟田、荒尾の両市に、私たちの代表である革新市長を送りこんだ。働くものの要求を掲げて、この四年間仕事をして貰ったのであるが、自民党政府はこの両市長に四年間の経験を通じたなかから、つぎのような対談をこころみた。巷間伝えられる保守政府の下では、地方都市の市長は保守でなければならない、という中傷が全くのデマであることが、対談を通じてはっきりとわかることができた。（問う人＝平島法政部長）

デマを破る実績

ひらしま　革新市長は保守政府のもとでは交附金その他が、保守系市長より少いといわれるが、これはほんとうのことですか。

ほそや　そういうことを保守系の人はよくいっていますが、全然根拠のないことです。例えば今年の例をとると、特別交附税では福岡市は四〇九万円、久留米市五〇万円、小倉市二〇万円、ところが大牟田市では四六〇万円、田川市は八六七万円です。保守系の市長より革新の大牟田、田川が少いことはないでしょう。大牟田の場合を具体的に申しますと、前の田中市長のときの二十九年が二一六万円、私がさいしょに市長になった三十年には一、四〇八万円です。これでわかるように、絶対革新市長だから少いということはないのです。どうしてかといえば、これは地方交附税法という法律に基づいて、キチンと計算されて交附されますから、つかみ金ではありません。だから、そういうことをいう人があれば誤った宣伝をしているのです。

つぎに、国の補助金の問題ですが、昭和二十九年を例にとると、前市長時代は二億七千五百万円、私が就任した三十年には三億一千万円、三十一年三億九千万円、三十二年四億三千九百万円、ことしは四億八千万円位になります。この数字が一番ハッキリするでしょう。

誰が失業者の街にしたか

ひらしま　労働者をバックとした市長は労働者、とくに自由労務者のみ可愛がって、農村対策をやらないといわれるが、どんなぐあいですか。

ほそや　労働者とくに自由労務者を可愛がりすぎるといいますが従来は源泉徴収などの見返りとして若干（税額にして四―五％）だしていましたが、私の代になり税法の改正でださなくなりました。

具体的にいうと、大牟田は労働都市といわれていますが、直接労働者、労働組織に対して市から助成金を一銭もだしていません。自由労務者を甘やかしすぎているという人がいますが、じつはいまのままの日本を保守甘うよりの政府――知事とその役所と公務員――がやる。市町村関係のことは、それぞれの議会と政府（市町村長）がやることは、国や県の場合と同じことである。

これで「どんな」というクイズの回答ができたわけである。国、県の議会がきめた条例や決議や答弁や批判にしたがって県の政府――知事とその役所と公務員――がやる。市町村関係のことは、それぞれの議会と政府（市町村長）がやることは、国や県の場合と同じことである。

▼動かしているか　▲はウマイことをいうが、じつはいまのままの日本を保守甘うよりの人々、すなわち保守派である。日本人全体からいえば一割たらずであろう。

これで「どんな」というクイズの回答ができたわけである。国、県の議会がきめた条例や決議や答弁や批判にしたがって県の政府――知事とその役所と公務員――がやる。市町村関係のことは、それぞれの議会と政府（市町村長）がやることは、国や県の場合と同じことである。

行政、財政の根本的なこと、日本全体に関係があることは国がきめている。国の議会がきめた法律――これは国の政府がやるのである。つぎに、県に関係があるのは、それぞれの議会と政府（市町村長）がやることは、国や県の場合と同じことである。

◎選挙の補充名簿作成には印鑑持参のこと。

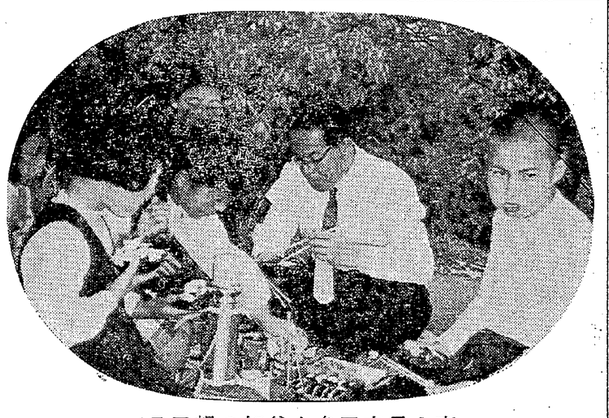
もれなく申請しよう　申請は代理でも出来るので地域分会はよく調査して該当者の本籍、住所、生年月日、市内に住むようになった年月日および以前の住所をたづねて行くこと。なお申請期間中、有効閲覧ができます。

一中学を出て高等学校にいくとすることは、県の議会がきめた条例や

新型の市営住宅出現

細谷市政について、ぎぎほどハヤ馬地区では、公民館で役員会がひらかれたが、この席で市長候補の革氏を推そうと提案があった。革氏推薦の理由として、細谷市長はハヤ馬には何もしていないということだが、道路拡張、市営住宅の建設などがつぎつぎと話合っているうちに他の人からだされ、提案はお流れとなった。

住宅政策も細谷市政になり強力におしすすめて各地に建設をみているが、このハヤ馬地区の市営アパートは最新式の二階建鉄筋アパートでいままでのアパートにくらべてスマートな外観と便利な間取りくわえて低廉な家賃が非常に好評で、利用者に喜ばれている。



一日里親の細谷大牟田市長夫妻

経営の責任恥じよ

交付金は保守より多額

ひらしま　革新市長は保守政府のもとでは交附金その他が、保守系市長より少いといわれるが、これはほんとうのことですか。

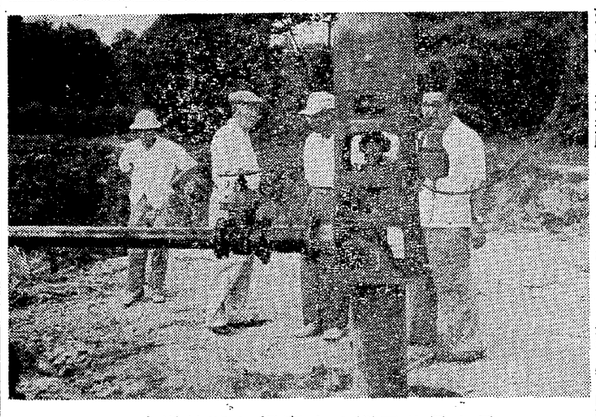
ほそや　補助金、交附金というのは法律、政令に基づいて配布されるものだから、市長の立場などは問題になりません。その証拠に荒尾市と保守市長の八代、人吉を較べますと荒尾は四六％、八代一九％、人吉二一・五％です。これらの金額獲得は政党というより、むしろ市長の行政手腕にまつところが大きい。私の場合四十五年ほどの業務経験をもっていますから党籍には関係することはありません。私たちは、むしろ経験にものをいわせてある程度働ける余地はあります。だが、原則として法律政令に基づいて算定されるので市長の党籍に関係するものではありません。

見事な農業の成果

ひらしま　労働者をバックとした市長は、労働者とくに自由労務者のみ可愛がって、農村対策をやらないといわれるが、どんなぐあいですか。

さかた　七年前、荒尾にきた時は、荒尾の道路は惨たんたるものでした。選挙のときちょうど雨季でもあったため、道路がとても荒れていた。それで道路をよくしようと第一に公約しました。就任して一月もたたないうちに建設省からグレーダを借りてきて全市にわたって道路の地ならし補修をし、この問題と取組んだわけです。爽問のように農民対策をおろそかにしたことは全然なく、道路のつぎに農業に重点をおきいまでは著しい効果をあげています。私が荒尾にきたときには農務課には事務屋さんばかりで技術者は一人もおらず、これでは駄目だと技術者を入れ、近代農業は科学をもとにしなければならないとのり出したわけです。だから、荒尾で成果をあげているのは道路のつぎに農業だといえます。

例えば米は供出の成績がよいため表彰さえうけており、果樹は当初は八十町歩で三千万円あげていましたが、いまでは二百町歩で七千万円あげています。豚は三百頭から三千六百頭、乳牛が三十頭から百頭、まだ例をあげるときりがありませんが、とくに海苔は私がきてから奨励しましたが、いまでは優秀な産業となっています。



水道施設を視察する坂田荒尾市長

不純な不信任動議

ひらしま　先般、特権階級のみの市政をすると保守側から不信任がでたが、これに対して市長はどうかんがえていますか。

さかた　私には不信任した意味がわかりません。議会で議案審議にあたっては、ほとんど全議案に賛成（予算案には反対）しており政策的にはこちらに同調しているのに、議案がすんだ後で不信任をだしたのです。不信任の理由をみても、市民を納得させるようなものは一つもないように思えるし、何か不純な動機によって提出されているようです。ほんとうに市政を思うのなら政策で対立してやるべきです。二十対九という否決の数をみてもわかるようにおかしな提案です。政治に対する無責任もはなはだしい、いくら地方の政治家でもも少し政治の筋を通すような行動をしてもらいたいものです。

困窮者に住宅を

ひらしま　市長がこんどもつとも重点的にやりたい政策はどんなものですか。

ほそや　第一に戦災復興事業は三十四年度で完成させることです。都市計画五カ年計画、農村振興五カ年計画、これを中心としたエのない街づくり、ことしからはじめた三川の企画整理事業、これらを中心課題としてやってきたがこれをまず完成させることです。

つぎに犯罪の多い大牟田から犯罪を追放するという意味で、街を明るくする運動を展開しなければならないと思っています。第三に今迄四年間で懸案は完全に片づいたが、塵芥処理に抜本的に対策を立てて処理すること、第四に墓地公園を考え、市民に立派なものをつくって墓地を積極的に整理していく、これも街の発展、都市計画上大切だと思います。これに関連して市政懇談会で要望のあった各地域の子供遊園地を逐次整備していきたい。また、来年から中学生が激増し三十七、八年には平常の二倍位になるもようです。それで中学校の建設、増築が起るとともに、中学生の就職、進学についても準備態勢をとっていかねばならないと思っています。

市政をゆがめる首切り

ひらしま　ぎぎの議会で革新クラブから三井鉱山の企業整備案撤回が提出されたが、多数で否決されましたね。これに対する市長の見解と、企業整備反対闘争に対してどうみていますか。

ほそや　三井の合理化案について否決されたのが三月十四日の本会議でした。その時にはまだ六千人の首切りはでていなかった。例えば鉱山学校の閉鎖など取上げられたわけですが否決になりました。

そのご六千人の人員整理がでたんです。大牟田では過去鉱山と化学が一万人以上の人員整理をしています。そのため失業者や生活困窮者、生活保護者が多くて、労働都市が変じて失業都市という有難くない名前までつけられていますから、この汚名を早く捨てるのは失業者をできるだけ一人でも二人でも正業につけるのが念願でしたそういうトタンに六千名の首切りが起ると大牟田にとっては荷いきれない重荷になります。もうこれ以上、失業者がでたら大牟田では深刻な様相を呈します。政治的立場がどうのこうのというのではなしに、市民生活の面からみても、財政的に限度を超えているわけです。

絶対つぶれぬ三池炭鉱

ひらしま　いまだされている三井鉱山の企業整備反対闘争に対する見解はどうですか。

さかた　石炭産業は国家的な産業であり、その役割は大きなものです。将来ともこれは変らないと思います。そういう意味で三池炭鉱には明治いらい、数千億円の国家資金が投下されて、今日まで三井に経営をやってきて貰っています。決してこれは三井鉱山の私有物ではなく、国家のもの、国民のものです。これを労使とも考えていただきたいです。とくに、三池は日本一の好条件のヤマであり、ここで赤字になるような経営はおかしいと思います。私にいわせると経営の不手際と労務管理の不美味さだと思う。日本の給料は外国の工業国と較べても凄く低くアメリカの十分の一、しかも炭鉱の給料は決して高くはなく、労働者の要求は無理がないと思います。石炭産業には国がもう少し力を入れて保護、育成する形がほしい。先にもいったように三池炭鉱は三井の私有物ではないから、決して国家が潰さないと私は確信しています。絶対現存するのだから、まず安心して団結を固め労働者の幸せを守るようにしなければなりません。それと同時に資本家も十分自分たちの経営を反省して、国に求めるべきものはどしどし要求すべきだと思います。

さかた　従来の慣行もあるので大牟田、荒尾は一体の社会環境でもあります。だから、いままでの慣行を止めることは考え直して貰いたい。だが、荒尾としても荒尾高校だけでは足らんので、荒尾工業高校を新設したい考えもっています。いまこれは県の方にも働きかけています。ぜひこれを新設して生徒の進学に備えたい。だが当分の間は大牟田、荒尾は総合一体の社会環境ですから、急激にこれに変化を与えないようにかんがえて貰いたいと思っています。

また、卒業生は例年百％消化しており、県外では近畿、中京に進出しています。向うでも非常に成績がよく雇主もほめているようですし、ことしあたりは人が足らんような現状です。

有明海